備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

（平成17年度事業）

施策名（小項目）	結核・じん肺	コード	担当課	保健課
		02-02-05	電話	64-1819

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系		
	大項目（基本目標）	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目（基本施策）	健やかで生き生きしたまちづくり

① 施策の対象と目的（誰のために、何のために）	市民やじんぱい患者が結核に感染するのを防ぐ
② 市民ニーズ（反応、問合せ等）	平成１７年度結核新規発生患者数　12人(東備保健所管内総数21人)。平成17年度じん肺新規認定者数62人、死亡者37人。こうした実績を踏まえて結核感染防止が求められている。.
③ 現況と課題（総合計画から現在の問題点を抽出）	結核登録者は、年々減少傾向にあるが、新規発生者は高齢者に多くなっている。特に抵抗力の弱い乳幼児、高齢者への対策が重要となっている。
④ 施策展開（総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出）	・ 検診などの充実 ・ 健康教育の推進 ・ ・ ・ ・ ・

⑤ 施策成果指標の検討・設定（基本目標・基本施策・施策意図から検討する）

意図・推進内容のキーワード	考えられる施策成果指標名	順位
結核感染の早期発見	結核検診受診率	1
じんぱい患者の健康管理	健康増進教室参加率	2

	施策に対する成果指標名		単位	評価年度 H17			目標値 H23	目標値 H28	ベンチマーク	指標の説明
1	結核検診受診率	目標		54.0			60	65	保健所管内受診率 H17 68.3	受診者数/受診対象者数
		実績		53.2						
		達成率	%	98.5						
参考1	健康増進教室参加率	目標		29.0			35	40		参加人数/見舞金支給人数
		実績		27.0						
		達成率	%	93.1						
参考2		目標								
		実績								
		達成率	%	#DIV/0!						
参考3		目標								
		実績								
		達成率	%	#DIV/0!						

市民意識調査結果	施策名	調査年度		H18	H19	H20	H21	H22
		重要だと思っている市民の割合	%					
		満足している市民の割合	%					

⑥ 施策構成事務事業の評価

担当課長評価

	施策を構成する事務事業名（ ）はその人件費（単位：千円）	事務事業評価結果 A～E（高～低）	細事業一覧表	直接事業費（単位：千円） 17年度事業費			優先順位（A～C）
1	結核予防事業 (4,087)	C	結核予防事業	5,410			A
2	じん肺患者見舞金事業 (2,415)	C	じん肺患者見舞金事業	10,697			C
3	感染症予防事業 (5,131)	C	感染症予防事業	3			C
			狂犬病予防事業	360			B

この施策に要した費用（人件費込、単位：千円）	H17		
	28,103		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
愛育委員会	受診勧奨	受診率の向上

⑧ 施策の評価

5：非常に高い　4：高い　3：どちらともいえない　2：低い　1：非常に低い

項目	一次評価 評価	一次評価 判断理由	二次評価 評価	二次評価 判断理由
1 目的達成度	3	感染症である結核の早期発見手段としての検診率が低い	2	同左
2 事業構成の適当性	3	じん肺見舞金は労災認定患者に対し二重補償となっている	2	同左
3 施策の有効性	3	結核感染防止の入り口としての検診受診率が低い	3	施策としては有効である
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	結核はまだ油断のできない感染症であるため、検診率の向上に努力を要する(愛育委員会との協働)。じん肺認定患者については個人施策である見舞金を見直し、新規認定を受ける人へのガイド役や健康管理について情報交換を目的とする、患者団体活動補助に転換を検討すること		同左	
担当部長コメント	早期発見、早期治療を目的にした検診の充実を図るとともに、さらに健康教育等の推進を強化していく必要がある。			